

「顔の見える関係」から「手をつなぎ合える関係」をめざして

ことう地域チームケア研究会

たよ

平成31年4月1日発行

第37回 ことう地域チームケア研究会を開催しました

- ◆開催日時:平成31年3月14日(木) 18:30~20:30 (会場:くすのきセンター)
- ◆担当団体:湖東圏域4病院相談支援部門・湖東健康福祉事務所
- ◆参加者:78名(医療関係者25名、福祉関係者24名、行政・包括等29名*内新規6名)

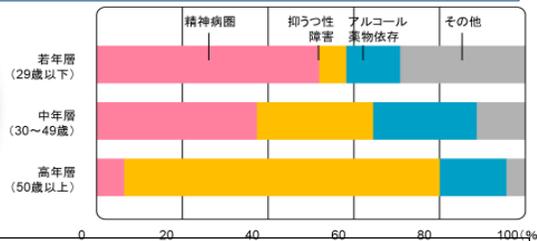


テーマ「こころのSOSの発信をキャッチする」

～あなたならどう声をかけますか～

高齢期が抱える精神的なリスクについて

上ノ山一寛さん(南彦根クリニック)



◆中高年の自殺とうつ病

中高年層の自殺の背景にうつ病の関与が多い。

◆高齢者の直面する課題「喪失」「孤立」

- ・身近な人の死や子どもの独立、仕事からの引退などによる喪失体験の増加。
- ・周囲とのつながりの減少による孤立感や疎外感。
- ・病気や死に対する不安や恐れを抱きやすくなる。

◆認知症と高齢者のうつ病の鑑別

高齢者のうつ病は認知症と混合されやすい。

◆高齢者のうつ病の症候学的特徴

- ・不安や焦燥感が強く自殺念慮や自殺企図へ至りやすい。
- ・疼痛症状や心氣的愁訴が多い。
- ・妄想を形成しやすい。等

◆高齢期の心気症、慢性疼痛の特徴と留意点(特徴)

- ・身体症状は多彩で移ろいやすい。
 - ・手術や転倒などを契機に発症することが多い。
 - ・身体症状と疼痛はADLとQOLを急速に低下させる。等
- (留意点)
- ・生活状況、家族関係を把握し、環境調整・関係調整がより重要。
 - ・治療経過中も内科的な診察と全身管理が大切。等

こころのSOSをキャッチする

～対応の基本～

横田恵美さん(彦根市障害福祉課)



みなさんになってほしい

「ゲートキーパー」

いのちの門番です。

悩みのある人に気づいて声をかけ、話を聴いて(傾聴)適切な機関や支援者につなぎ、見守る人のこと



湖東圏域の自殺未遂者支援事業

西川純子さん(湖東健康福祉事務所)



<事業の目的>

様々な困難や苦痛を抱えた自殺未遂者に対し、地域での相談窓口の紹介や各関係機関が連携して必要な支援を行うことで、自殺未遂者の再企図を防止する。

自殺予防につながる地域の連携、支援体制を構築する。

<事業の内容>

救急告知病院から各市町へ連絡。各市町が本人、家族に対して状況を確認し、訪問や関係機関につなぐ支援を行う。



湖東圏域の「こころのケア」窓口紹介

病院の先生、各市町の窓口、地域生活支援センターまな、ステップアップ21等々、たくさんの専門職、相談窓口となる関係機関の皆様から自己紹介。これからさらにつながり合っていきましょう。

☆多くの精神保健専門職、窓口の方に助言をいただきながら、事例を交え現状や支援について理解を深めました。

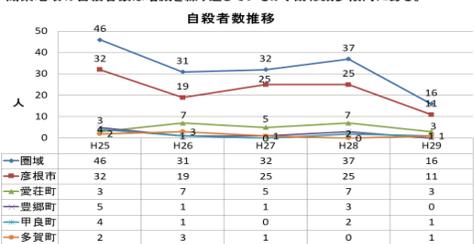


グループ交流会

- 話題提供を聞いた感想
- こころのSOSをキャッチしたらあなたならどうしますか

自殺者数の推移(圏域・市町)

湖東地域の自殺者数は増減を繰り返しているが、概ね減少傾向にある。



【湖東地域の現状】

- 湖東圏域の自殺者数は減少傾向にはありますが、
- ・高齢者(70歳以上)の自殺率は、県、国と比較して高くなっている。
 - ・独居よりも同居の方の自殺者数が多い。

これから



現状について感じていること ～身近にある問題として～

- ◆うつは高齢者に多いことを知って驚いた。
- ◆独居よりも家族と同居している人の自殺が多いという現状は意外だった。同居していても孤立感を感じていたりするのかもしれない。
- ◆歯科の現場においても、患者からいろいろな悩みを打ち明けられることがあり、話を聞くことの大切さを感じている。

高齢者の自殺者数は、若干、増加傾向に

支援者もどう対応したらいいのかわからず悩んでいる

- ◆個々の状況に合わせて傾聴しているが難しい。
- ◆様々な現場で思い浮かぶ方がいる。話をしながら泣き出してしまう人もいるが、どのように声を掛け、そしてどこにつなげたらいいのかわからない。うまく気づけなかったこともあるのではないかと思った。
- ◆リハビリの場面でも、患者の異変に気づくことがあるが、どう声をかけたらいいかと悩む。気持ちを聞き出そうとしても拒絶されるとどうしたらいいのかわからないことがある。



“傾聴” 受け止めて聴く

みんながゲートキーパーに

- ◆心の悩みはみな持っているもの。社会の問題として、自分ごととして考え、皆がゲートキーパーになれるとよい。
- ◆ゲートキーパーが必要になる前の段階での役割を皆ができるとよい。健康を害する前の気づきが大切。
- ◆自殺未遂者支援事業について多くの人に知ってもらう必要があると感じた。
- ◆支援者に繋がっていない人をどう見つけ出し支援するかは課題である。



点と点のつながりを線にして、そして広い面にしていく。網の目を細かくして、困っている方をひろいあげることができるようにしていきましょう。今日の会を通して、また少しつながり合うことができたのではないのでしょうか。

支援者のケア ～チームで支援を～

- ◆地域のつながり、支えの大切さを感じる。
- ◆関わる専門職が多く居ることを知った。今後つながりがもてるようにしていきたい。
- ◆悩みを聞いた人も抱え込まず次につながるとよいと思う。つながり合う社会に。
- ◆家族は気持ちに余裕なく、言葉かけが時に間違ってしまうこともある。支援者の家族にもねぎらいを。
- ◆この研修で相談機関を知ることができた。いのちの門番ゲートキーパーになった時、近くの相談機関に連絡できるとよい。

一人で抱え込まないで。



お知らせメールの登録をお願いします。

ご参加ください! 次回(第38回)は…

日時：令和元年 5月30日(木) 18:00～20:00

会場：くすのきセンター1階

テーマ：「新たな時代の連携を語ろう！」

担当団体：ことう地域チームケア研究会世話人会

*研究会は申込み不要です。当日会場へお越しください

*問い合わせ先：ことう地域チームケア研究会事務局

彦根愛知犬上介護保険事業者協議会 (TEL 49-2455)

彦根市医療福祉推進課 (TEL 24-0828)

研究会の開催状況や、次回のご案内をメールでお知らせします。ご希望の方は、「①お名前 ②ご所属 ③ひと言」をいれて下記にメール送信してください。

☆ことう地域チームケア研究会事務局

(E-mail) info@gen-ai-ken-kaigo.jp

彦根医療福祉推進センター(彦根市・豊田町・豊郷町・甲良町・多賀町)

在宅医療福祉情報の森

<http://kusunoki-iyoho-mori-kotou-shiga.or.jp/>
ホームページで研究会の情報をご覧いただけます。

話題提供について感じたことなど

- 【医学生】 普段スポットライトが当たらない高齢者の自殺という問題について新しい知見が得られた。
- 【不明】 今まで相談先を知らなかったので良い機会となった。 / 新しいことが知れてよかった
- 【医療職】 テーマに沿って講演も事業説明も聞いて理解しやすかった。
- 【歯科衛生士】 PSW という職種についてよくわかった。「まな」という施設がどのような施設かが少しわかった。
- 【介護支援専門員】 自殺する高齢者の割合が多いことに驚いた。 / SOS のキャッチ、傾聴の大切さを再認識できた。 / 湖東圏域の自殺動向を知れてよかった。
- 【看護師】 ゲートキーパーとしての傾聴、タブーを知ることができた。 / 身近なテーマだった。明らかな答えは難しくてもチームで一緒に考えていくと乗り越えられることもあるのかと思った。 / 同居の方の自殺が多いことが分かった。
- 【医師】 言葉の影響力の強さ、接し方の難しさについて。

グループ交流会について

- 【医学生】 現場で働いておられる方の貴重な体験談を聞くことができた。
- 【不明】 みなさんの体験談や考えを聞くことで、自分の考え方を見直すことができた。 / 実際に多いケースのことなど詳しく知ることができた。 / もっと精神科の先生と話がしたい。
- 【看護師】 支援者の心のケア必要。支援者もギリギリ余裕がない。 / 貴重な意見交換ができてよかった。
- 【医療職】 時間は少なかったがテーマが絞られていたので意見が出やすく多職種の方の経験を聞くことができた。
- 【介護支援専門員】 もっと時間があるとよかった。 / いろいろな意見が聞けた。 / 他職種の方のご意見は貴重だった。 / 普段相談を受けている専門職の方から実際に「こういう風になっている」ということや、今行っている対応についてよいと思うこと等、アドバイスがいただけでよかった。
- 【精神保健福祉士】 薬剤師や栄養士さんのお話が聞いて参考になった。 / 普段なかなか交流できないような分野の方のお話が聞いて良かった。
- 【歯科衛生士】 自分の対応が合っているのか迷いがあったがそれで大丈夫とってもらえてよかった。
- 【理学療法士】 それぞれの職種が感じていることを共有できた。
- 【医師】 いろいろな立場の人がいろいろな場合で遭遇されているのだと感じさせられた。
- 【管理栄養士】 訪問栄養指導では食事の事だけではなく様々な角度から利用者さんに寄り添っていこうと思った。

もう少し聞きたいこと

- 【看護師】 PSW の個別訪問について希望したい。つないで受け皿となってもらえるのか。PSW にもっと啓発周知してもらって直接相談を持ち掛けたい。
- 【医療職】 自殺の数が減ってきていることにゲートキーパーや支援事業の効果があるという見方でよいかどうか。
- 【介護支援専門員】 救急告知病院について 初めて聞いた。
- 【不明】 「死ぬ」権利は存在するのだろうか。 / 自殺にこだわらず精神をテーマに集まってみたい。 / 内容が濃すぎて講演時間が不足したのが残念だった。
- 【歯科衛生士】 上ノ山先生のお話はもっとたくさん聞ききたい。
- 【介護職】 「傾聴」についてどうすればよいかしっかりと分かっていない自分がいる。
- 【理学療法士】 ケアマネがついていない方の相談窓口はどこにしたらいいのか。
- 【医師】 本日のテーマは大きすぎる。若者（学生）のための、学校以外の施設（居場所）が必要と感じた。
- 【医薬品卸】 「自殺者は男性が多い、自殺未遂者は女性が多い」というのはなぜか？理由、背景は？

貴重なご意見・ご感想、本当にありがとうございました。

参加者の方の所属事業所(順不同)

* 同意をいただいた事業所様のみ掲載しています

【病院・診療所】松木診療所・中西医院・南彦根クリニック・上林医院・彦根市立病院・彦根中央病院・豊郷病院

【歯科医院】つつみ歯科医院・田井中歯科医院・三希子歯科医院・むとう歯科医院・若松歯科医院

【訪問看護ステーション】レインボウひこね・レインボウとよさと・レインボウはたしょう

【居宅介護支援事業所】笑ケアプランセンター・さざなみ苑居宅支援センター・JA 東びわこ愛あいステーション・NPO ぽぽハウス・近江ふるさと会・かいこうの郷居宅介護支援事業所・元気村・彦根市社会福祉協議会・あったかケアプランセンター・信幸ケアサービスセンター

【介護サービス事業所】鈴木ヘルスケアサービス・サニープレイス彦根・デイサービスセンターべるふらっと・デイホームぶどう・株式会社一カイ・特別養護老人ホームさざなみ苑・ケアパートナーヨシ彦根・久左の家

【地域包括支援センター】甲良町・多賀町・彦根市(いなえ・すばる・ひらた・ゆうじん・きらら)

【行政関係・医療福祉専門職団体】多賀町福祉保健課・彦根市医療福祉推進課・彦根市障害福祉課・湖東健康福祉事務所 **【その他】**花かたばみの会・滋賀県歯科衛生士会・地域生活支援センターまな・社会福祉法人とよさとステップアップ21・滋賀医科大学・武田薬品・スズケン・中北薬品・アルフレッサ・

多くのご参加 ありがとうございます。



グループ交流会



話題提供



全体会 (グループ発表・自己紹介)